

カルロ・ザウリ展

イタリア現代陶芸の巨匠

2007年10月2日(火) - 11月11日(日)

開館時間 = 9時30分 ~ 17時 (入館は16時30分まで)

休館日 = 毎週月曜日 (但し10月8日(月・祝)は開館、翌10月9日(火)は休館)

主催 = 京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、ファエンツァ市、エミリア・ロマーニャ州、

カルロ・ザウリ美術館、日本経済新聞社

後援 = イタリア文化省、イタリア外務省、ラベンナ県、ラベンナ商工会議所、イタリア大使館、イタリア文化会館

協賛 = フェラーリーニ社、モカドロー、GD、Art+

協力 = アリタリア航空、オープン・ケア、京阪電鉄

京都国立近代美術館 (岡崎公園内)

CARLO ZAULI A RETROSPECTIVE

Organized by
The National Museum of Modern Art, Kyoto
The National Museum of Modern Art, Tokyo
The City of Faenza
Region of Emilia-Romagna
Carlo Zauli Museum
Nikkei

With the support of
Ministry of Cultural Properties and Activities
Ministry of Foreign Affairs
Province of Ravenna
Chamber of Commerce of Ravenna
Italian Embassy in Japan
The Italian Institute of Culture in Tokyo and Kyoto

With the sponsorship of
Ferrarini s.p.a.
Mokador
GD
Art+

With the cooperation of
Alitalia
OpenCare
Keihan Electric Railway Co., Ltd.





1

この展覧会はイタリア現代陶芸の巨匠カルロ・ザウリ(1926-2002)の没後初めての回顧展であり、1951年から91年までの40年間の作陶を展観するものです。また、本展は、ザウリが居住しスタジオを構えて制作していたイタリアのファエンツァ市との国際交流展として開催いたします。

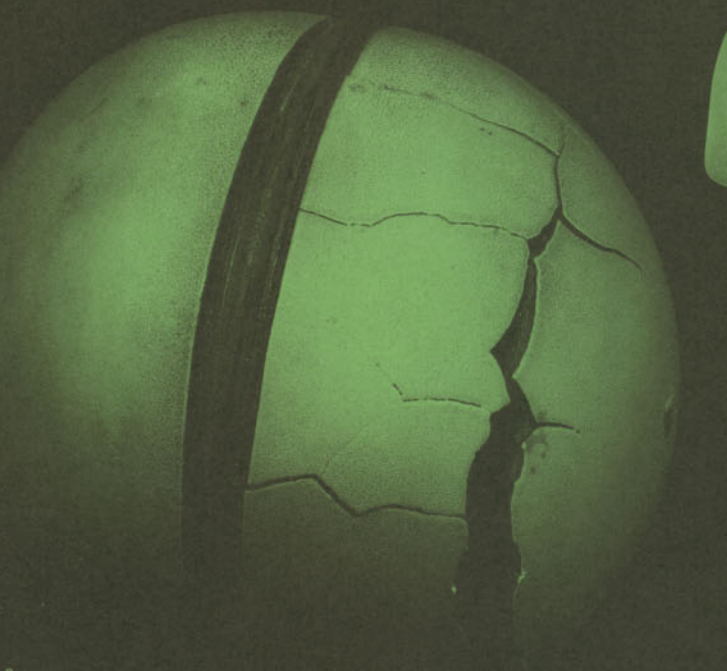
ファエンツァはフランス語で陶器の意味を指すファイアンスの語源にもなった町で、ファエンツァ=焼きものとして中世から有名な陶芸地として知られています。ザウリはこの地で生まれ、生涯同地で制作を続けました。

また、ザウリは、世界で一番規模の大きいファエンツァ市主催のファエンツァ現代陶芸コンペでファエンツァ賞を3度も獲得したことで世界的に有名であり、イタリアの現代陶芸界の旗手としてニーノ・カルーソやポンペイ・ピアネッツォーラ、フェデリコ・ボナルディら

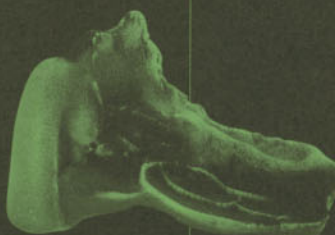
と共に活躍しました。その制作は、土の造形素材としての可能性を徹底的に追求したダイナミックな陶による造形作品から、繊細で緻密な建築壁面の仕事まで多様なものです。

今回初めてとなる1950年代初期のマジオリカ作品から高温焼成のいわゆる“ザウリの白”と呼ばれている60~70年代の代表的な陶を用いた彫刻(陶彫)作品、80年代に行った、釉薬を用いない黒粘土による挑戦的な作品なども展示されますが、その各々の中でもザウリ自身が選んで残した作品が紹介されます。さらに、ザウリはタイルのデザイナーとしても一時代を築くとともに、多彩な才能を発揮してデザインやリトグラフ、ブロンズなどによる陶以外の仕事でも評価されています。

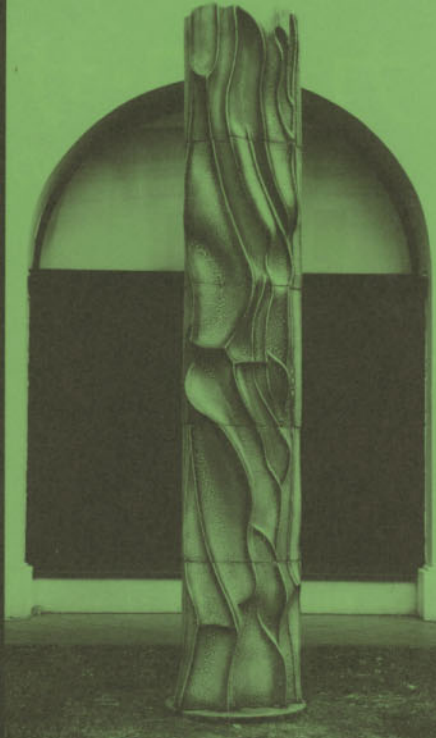
また、ザウリと日本との関係は古く、1964年に当館はじめ東京、名古屋などで開催された現代国際陶芸展で紹介されて以後、1970年代には個展が数回開催され、作品は当館をはじめ日本の美術館にも収蔵されています。本展が、イタリアの現代陶芸の巨匠ザウリの作品の豊かさに改めて触れ、同時に現代陶芸に新たな示唆を提示する機会となることを期待いたします。



2



6



5

【関連企画】

記念講演会

10月6日(土)午後2時から3時半

京都国立近代美術館1階講演室

演題「回想 わが友カルロ・ザウリ」

講師一乾 由明(兵庫陶芸美術館館長)

聴講無料、定員100名、午前11時より受付にて整理券を発行いたします。

●表画—上:「球体の空をスフィア(Spherical Pulsation)」,1969/70年。Photo:Foto L&S。下:「翼のある立方体(Winged Cube)」,1970年。Photo:Carlo Zauli
●裏画—1(左)/Aase,1993年。2(右)左:「白い塔(Big White from Sphera)」,1967/68年。3(形彫)右:「カクレカクレ」,1974年。4(形彫)右:「カクレカクレ」,1974年。5(形彫)右:「カクレカクレ」,1974年。6(無題/Untitled),1991年。……全てカルロ・ザウリ美術館蔵。Photo:1,2,3,4,5/Massimiliano Fassinari,6/Carlo Zauli Museum

CARLO ZAULI

A RETROSPECTIVE

【観覧料】

一般:1000円(800円/700円)、大学生:500円(400円/300円)、高校生:300円(200円/150円)

※()内は前売り/団体料金・団体は20名以上

※中学生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください。)

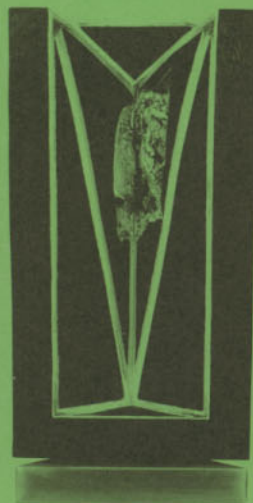
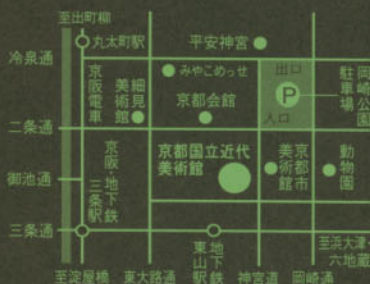
本料金でコレクションギャラリーもご覧になれます。

※前売券発売所:チケットぴあ・ファミリーマート(Pコード:687-553)、ローソンチケット(Lコード:51707)ほか主要プレイガイドなど

【交通】

- JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス⑤(岩倉行「京都美術館美術館前」下車すぐ)
- JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス⑩(急行)銀閣寺行「京都美術館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス⑤(岩倉行)「京都美術館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪四条駅から市バス④(平安神宮行)「京都美術館美術館前」下車すぐ
- 市バス他系統「東山二条」又は「京都美術館美術館前」下車徒歩約5分
- 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約5分
- お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越しください

展覧会のお問い合わせ—京都国立近代美術館
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話:075-761-4111
テレホンサービス(展覧会のご案内):電話 075-761-9900
ホームページ <http://www.momak.go.jp>



3



4